

Hitachi Koki

取扱説明書

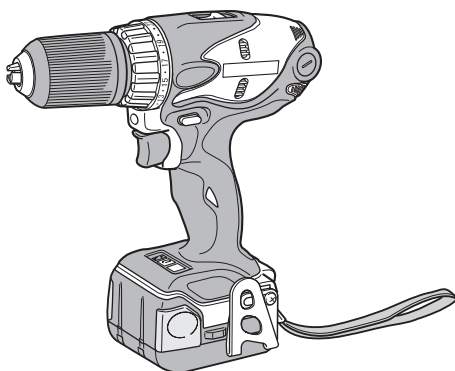
日立コードレスドライバドリル

形 名

14.4V [無段変速]

FDS 14DSL

このたびは、日立コードレスドライバドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。







用 途

- 小ねじ・木ねじ・タッピンねじなどの締付け、ゆるめ
- 鉄工錐で金属の穴あけ、木工錐で木材の穴あけ

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。リチウムイオン電池をお使いいただくうえで特別な注意が必要です。詳しくはP6を参照してください。

コードレス工具の安全上のご注意 ……	1
本製品の使用上のご注意 ……	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意 ……	6
各部のなまえ ……	8

はじめに

 充電する ……	9
 基本機能について ……	11
 ねじを締める ……	17
 穴をあける ……	19

使い方

各種先端工具のご紹介 ……	21
点検とお手入れ ……	22
故障かな…というときは ……	24
仕様 ……	25
アフターサービスについて ……	26

その他

HITACHI

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具体体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具体体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具体体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具体体を使用してください。**
 - 小形の工具体体やアタッチメントは、大形の工具体体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にて修理を依頼してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にて修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリル（錐）などの回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。

⚠ 注意

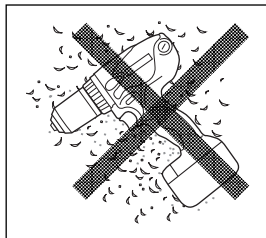
- ① 工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリル（錐）や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や工具本体などを落とすとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径のドリル（錐）は折れやすいのでご注意ください。
 - 飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑦ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
 - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑨ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

本製品はモータ部に強力な永久磁石を使用しております。この永久磁石による工具本体への切りくず等の付着や電子機器への影響について、更に次の注意事項を守ってください。

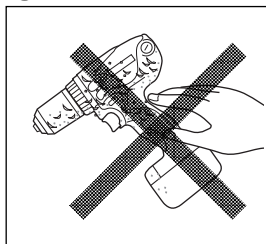
⚠ 注意

- ① 金属の切りくずが散乱した作業台、作業場などに工具本体を置かないでください。
 - 切りくずが付着し、けがや故障の原因になります。
- ② 切りくずが付着した工具本体に、触れないでください。付着した切りくずは、ハケなどで取り除いてください。
 - けがの原因になります。
- ③ ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用したり、近づかないでください。
 - 正常な動作を損なう恐れがあります。
- ④ 携帯電話などの精密機器、磁気カード類や電子記録媒体を工具本体に近づけないでください。
 - 誤動作、故障、記録の破損などの原因になります。

①



②



リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。

リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると（電池電圧 8 V まで低下）モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
再びご使用になれます。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。再びご使用になれます。

更に次頁に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具体体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

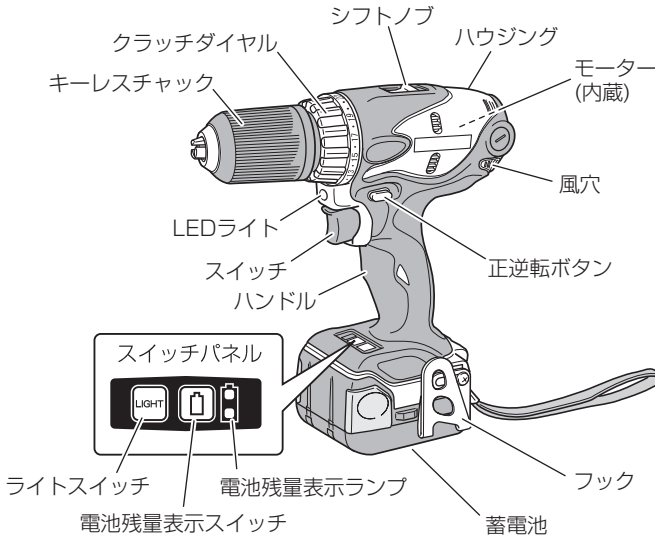
⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、サビや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

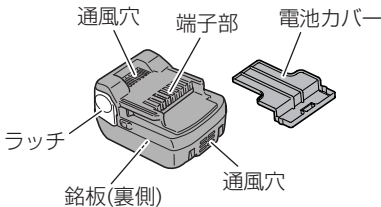
各部のなまえ

この商品は、一般家庭での使用を想定し、工具本体および蓄電池の寿命を当社プロ用より短く設定しております。大工・電気工事業で頻繁に使用される場合は、当社プロ用製品のご使用をお勧めします。

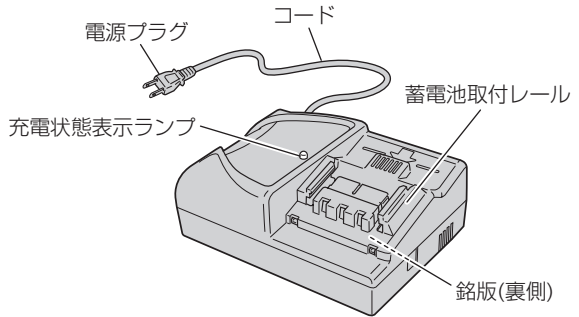
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名	形名	個数
蓄電池	BSL 1415	2個(本体装着1、予備1)
充電器	UC 14YFSL	1台
ビット(No.2 プラスドライバビット)	—	1本
収納ケース	—	1個
電池カバー(予備電池装着用)	—	1個



充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流100V用です。200V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

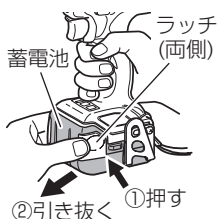
コンセントががたついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P10「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

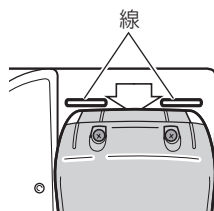
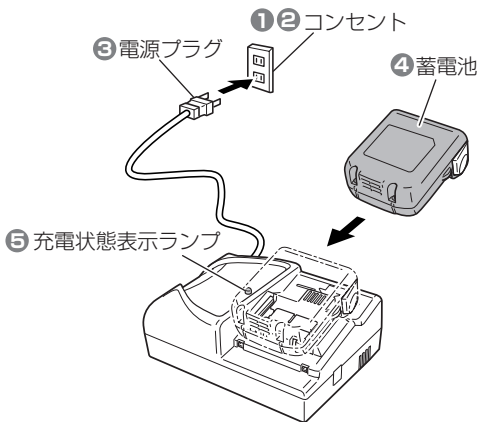
取りはずすとき



- 蓄電池を右図に示す線が見えるまで、しっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電表示ランプが赤に連続点灯します。

5 充電の完了

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間：約30分






注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

警告

- 充電は必ず専用の充電器を使用してください。
- 温度が0℃未満または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。最適温度は、20～25℃です。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。
ランプの表示内容は以下のようになっています。

充電状態	ランプの表示		表示内容
充電前	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
充電中	赤点灯	連続点灯 	
充電完了	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	
高温待機	緑点灯	連続点灯 	蓄電池の温度が高くて 充電できない。 (温度が下がると自動的に 充電を開始します。)
充電不可	赤の速い 点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に 異常あり

注 • 赤の速い点滅(0.1秒点灯／0.1秒消灯)を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

基

基本機能について




ご使用前に、本製品の基本機能をお読みください。

●電池残量警告ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指を離すとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

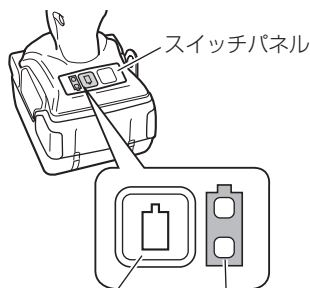
ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



電池残量表示スイッチ

電池残量表示ランプ

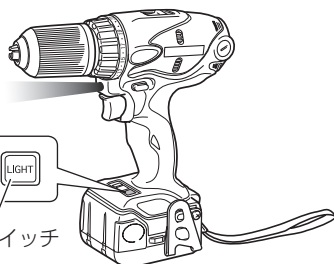
●LEDライトの使い方

⚠注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。

ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびにLEDライトが点灯・消灯します。蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。



ライトスイッチ

注 LEDライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約15分経過すると自動で消灯します。

●フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどに吊下げる機能を持っています。

⚠警告

フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。

工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例



⚠注意

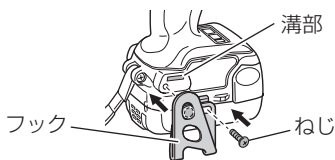
- フックを腰のベルトに掛けて工具本体を運ぶときは、工具本体の先端にソケット以外は取付けないでください。錐などの先端がとがったものを取付けたまま腰のベルトに掛けると、けがの原因になります。
- フックはしっかりと取付けてください。フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



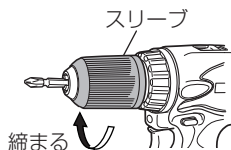
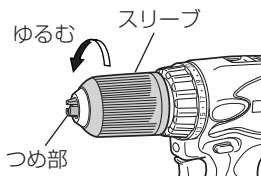
●キーレスチャックの使い方

ゆるめる

スリーブを左方向（正面から見て反時計回り）に回し、つめを開きます。

締める

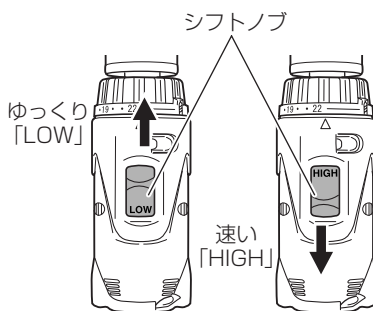
スリーブを右方向（正面から見て時計回り）に回し、「カチカチ」と音がするまで締めます。作業中にゆるんだ場合は、さらに強く締めてください。把握力が大きくなります。



注 キーレスチャックのつめを最大に開いた状態からさらに開くと、スリーブを締めるとき「カチカチ」と音がします。キーレスチャックのゆるみ防止の音で故障ではありません。音が気になる場合はスリーブを左方向に少しもどしてから締め直すと「カチカチ」という音が消えます。

●シフトノブで回転数切替 (HIGH/LOW)

速い回転でねじ締めを行いたいときは、シフトノブを「HIGH」(高速)へ、ゆっくりした回転で行いたいときは、「LOW」(低速)へ切替えます。ドリルとして使用しているときも有効です。



- 注**・シフトノブで回転数を切替えるときは、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。
モーターの運転中に回転数を切替えると、内部の歯車を傷めます。
- 大きな力が必要な作業(下表を目安にした作業)の場合は、シフトノブを「LOW」側にご使用ください。
「HIGH」側で使用すると、モーターが早期に故障する原因になります。


金属穴あけ	穴径 6.5 mmを超える場合
木材穴あけ	穴径 18 mmを超える場合
木ねじ締め	呼び径 4.1 × 35 mmを超える場合

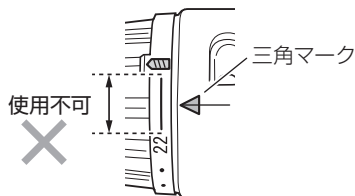
●クラッチダイヤルの使い方



⚠️ 注意

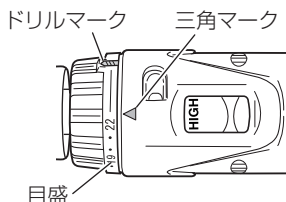
クラッチダイヤルをドリルマーク位置にしたままでボルト、ナットの締付けをしないでください。



締付け完了と同時に大きな負荷がかかって、振り回される恐れがあり、けがの原因になります。また、ボルトの破損や工具本体の故障の恐れがあります。

注 三角マークが「22」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。故障の原因になります。




- クラッチダイヤルの目盛りを変えることにより、締付けトルクを調整出来ます。目盛り数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め(またはねじはずし)ができます。ねじ径やねじ締めをする材料に合わせて調整してください。
- 必要以上に力がかかると、クラッチが動作して(カチャカチャと音がする)ねじの締めすぎを防止します。
- 三角マークと目盛り「1～22」または黒丸、ドリルマーク「」が合うようにクラッチダイヤルを回します。
- ドリルとして金属や木材に穴あけする場合は、ドリルマーク「」を三角マークにあわせませす。



目盛り	1・・4・・7・・10・・13・・16・・19・・22	
作業の目安	 小ねじの締付けや、やわらかい木材	使用不可
	かたい木材	太い木ねじや、穴あけ

●ねじ締め作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。


作業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
ねじ締め ナット締め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
木ねじ締め	1 ~ 	呼び径 6.8 mm × 長さ 50 mm	下穴をあけてご使用ください。

注 締付けるねじに合わせてクラッチダイヤルを回し、締付けトルクを調整してください。

締付けトルクが強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めます。

●穴あけ作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
穴あけ		鋼 材：錐径 13 mm (板厚 1.6 mm)	モーターの回転を停止させないようご使用ください。
		アルミ：錐径 13 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材：錐径 36 mm (板厚 18 mm)	
ねじ締め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1 ~ 	呼び径 6.8 mm × 長さ 50 mm	下穴をあけてご使用ください

●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引込み量で無段階に回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターを停止させる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●連続作業について

注意

ねじ締め、ねじはずし、穴あけ直後のねじやビット、ドリル（錐）、キーレスチャックのつめ部は高温になっているので触れないでください。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●工具の保持と押し付け力について

工具本体は両手で確実に保持してください。工具本体を保持した際には、ねじやボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、工具本体は必要以上に押し付ける必要はありません。工具本体をこじる力や押し付ける力が過度にかかると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

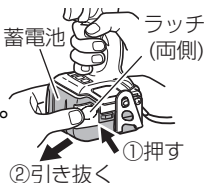


ねじを締める

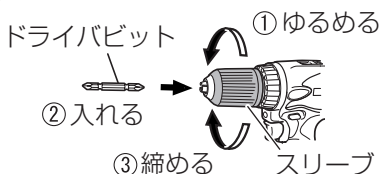
モーターの回転を利用して、木ねじや小ねじなどを素早く締めたり、はずしたりすることができます。

1 蓄電池を取りはずす

誤動作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。

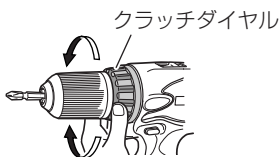


2 ドライバビットを取付ける



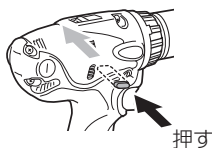
スリーブをゆるめて、ビット挿入後、「カチカチ」と音がするまでスリーブをしっかりと締付けます。
(P12「キーレスチャックの使い方」参照)

3 クラッチダイヤルの目盛りを合わせる



クラッチダイヤルを回し、作業に応じて、締め付けトルクを調整します。
(P14「クラッチダイヤルの使い方」参照)

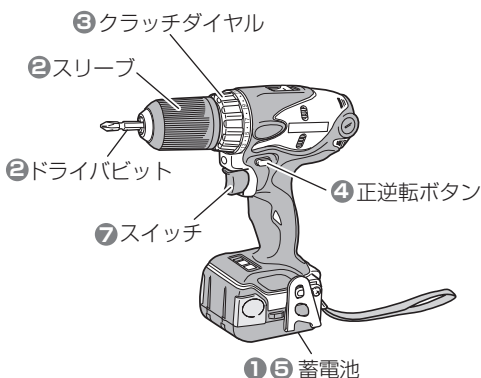
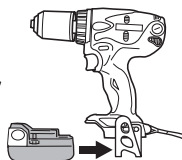
4 回転方向を合わせる



- 正逆転ボタンを押して、ねじの締め付け方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



⚠ 警告

- 加工するものはしっかりと固定してください。
- 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠ 注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、キーレスチャックのつめ部は高温になっているので触れないでください。

6

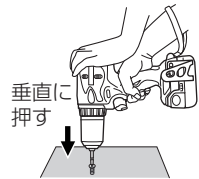
作業を開始する前に、
下の

ねじ締め作業のコツ
を読んでください

7

スイッチを入れる

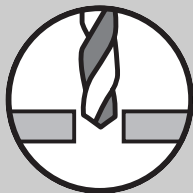
- ドライバビットの先をねじ頭部の溝に当て、スイッチを引きます。
- ねじの頭からドライバビットが外れない程度力で押し付けます。



●ねじ締め作業のコツ

- ねじをはずすときは正逆転ボタンを①側から押してスイッチを入れてください。
- ねじを傷めないコツ
本体後方から軽く荷重をかけながらねじ締め(またはねじはずし)すると、ねじの頭を傷めずに行えます。
- 下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、金づち等で軽く木ねじを木材に打ちつけてから、締め付けるとねじがぐらつかずスムーズな作業ができます。
- ねじの径より少し細い錐で下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。

木ねじ呼び径(mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径(mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9	4.3
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2	4.6



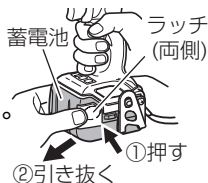
穴をあける

ドリル(錐)を取付けて、木材や金属に穴をあけることができます。

1

蓄電池を取りはずす

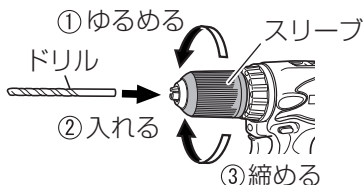
誤動作防止のため、蓄電池を工具体より抜いてください。



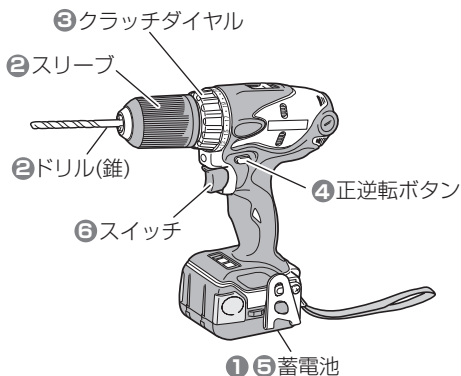
2

ドリル(錐)を取付ける

- スリーブをゆるめてドリル挿入後、「カチカチ」と音がするまでスリーブをしっかり締付けます。
- 木ねじの下穴や 10 mm 以下の穴には鉄工錐をご使用ください。



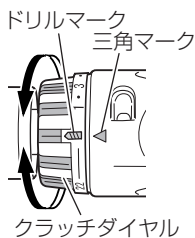
(P12「キーレスチャックの使い方」参照)



3

クラッチダイヤルのマークを合わせる

クラッチダイヤルを回して、ドリルマーク「」を三角マークに合わせます。



注

ドリル「」でご使用の際、モーターの回転が停止する場合がありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。
モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因となります。

4

回転方向を合わせる

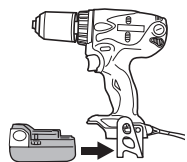
- 正逆転ボタンを正転側から押してください。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。



5

蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



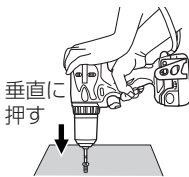
警告

- 加工するものはしっかりと固定してください。
- 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- 穴あけ直後のドリル、切りくず、キーレスチャックのつめ部は高温になっているので触らないでください。

6 スイッチを入れる



(下記参照)

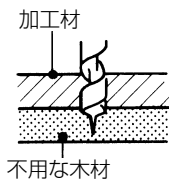
7 材料からドリル(錐)を抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリル(錐)を引き抜いてください。
または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを逆回転(⊖)側から押し、再度スイッチを入れて引き抜いてください。

●木材にきれいな穴をあける

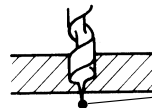
不用な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工錐が裏側へ突きぬげるときに発生するバリを防ぐことができます。



または

木工錐の先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける

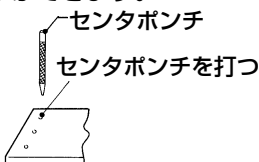


先が出たところで裏返りする

●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工錐の先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



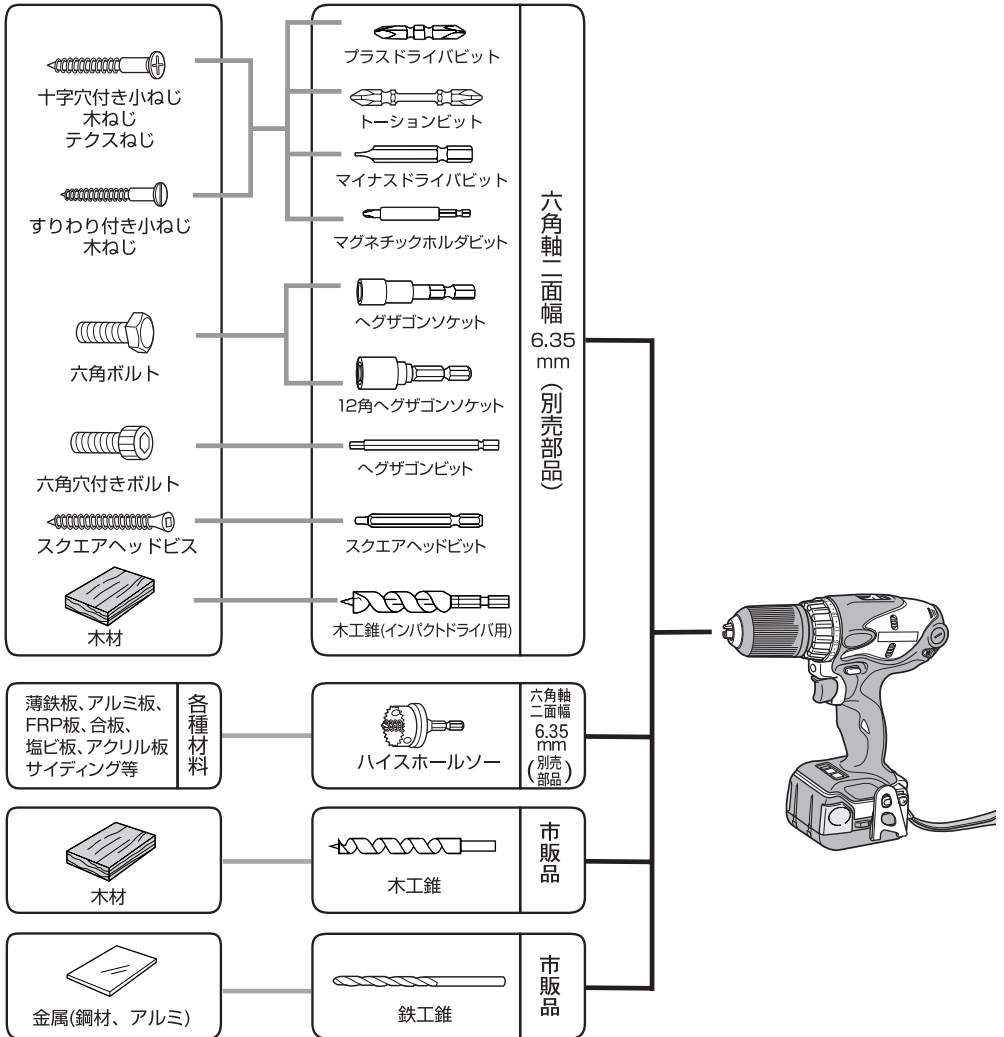
さらに

鉄工錐の先に機械油か石けん水を付ける
穴があけやすくなります。

注 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、錐がキーレスチャックからすべることがあります。このような場合は、工具本体の押し付け力を弱め、錐がすべらないようにしてください。

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具(アタッチメント)をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、日立電動工具販売店にお問い合わせください。



点検とお手入れ

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 錐、ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損した錐やドライバビットを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

● 取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

● 作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

● モーター部の取扱について

モーター部（P8「各部のなまえ」参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

- 注**
- ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

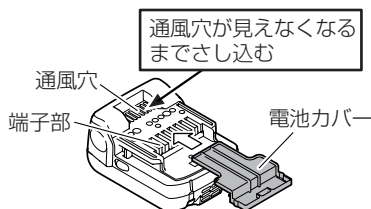
● 汚れをとる

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

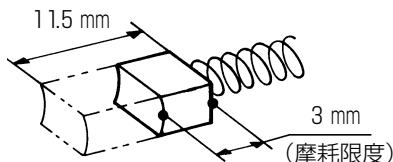


●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

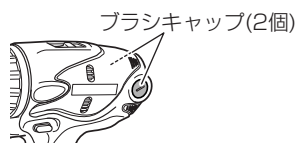
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ(コードNo. 999054)を使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

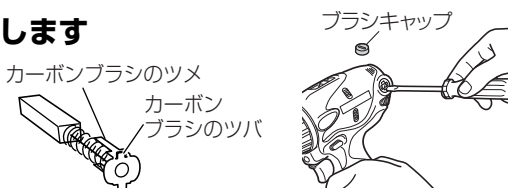
1 ブラシキャップをはずします

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



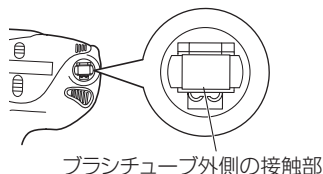
2 カーボンブラシを取り出します

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っかけて、取り出します。



3 新しいカーボンブラシを取付けます

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



注 カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4 ブラシキャップを取付けます

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
充電ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントにさし込まれていない。	電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない。	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
	蓄電池または充電器の充電端子が汚れている。	綿棒で汚れをふき取ってください。
	蓄電池が高温である。	蓄電池を十分に冷ます。
充電開始後、4時間くらい経過しても充電ランプが消えない。	蓄電池または充電器の異常と考えられる。	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。
動かない。	蓄電池の残量がない。	蓄電池を充電してください。
	正逆転ボタンが中立の位置になっている。	用途に合った回転方向へしっかり押し込んでください。

仕 様

1. 工具体仕様

形 名		FDS 14DSL
能力	穴あけ	鋼材：直径 13 mm アルミ：直径 13 mm 木材：直径 36 mm
	ねじ締め	小ねじ：6 mm 木ねじ（下穴あり）：呼び径 6.8 mm×長さ 50 mm
締付けトルク	1	約 0.49 N·m { 5 kgf·cm}
	4	約 0.98 N·m { 10 kgf·cm}
	9	約 1.96 N·m { 20 kgf·cm}
	14	約 2.94 N·m { 30 kgf·cm}
	19	約 3.92 N·m { 40 kgf·cm}
	22	約 4.4 N·m { 45 kgf·cm}
		低速：約 35 N·m { 357 kgf·cm} 高速：約 8.7 N·m { 89 kgf·cm}
無負荷回転数 (気温 20°C満充電時)		低速：0～400 min ⁻¹ { 0～400 回/分} 高速：0～1400 min ⁻¹ { 0～1400 回/分}
モーター		直流モーター
キーレスチャック容量		最大把握径 13 mm
蓄電池		円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧		14.4 V
工具体寸法 全長×全高×全幅		199×223×80 (BSL 1415装着時)
質 量		1.5 kg (BSL 1415装着時)
LED ライト		白色LED
残量表示ランプ		赤色LED

2. 充電器仕様

形 名	UC 14YFSL
入力電源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充電時間	BSL 1415 …………… 約 30 分 (気温 20°C時)
充電電圧	14.4 V
充電電流	3.5 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.6 kg
使用温度範囲	0°C～40°C

3. 蓄電池仕様

形 名	容 量
BSL 1415	1.5 Ah { 1500 mAh}

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合がありますので、その節は裏表紙に記載の「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東	台 東 区	東 京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

